

デジタルヘルス時代に 生き残る プログラム医療機器

参加費
無料

Zoom
ウェビナー
開催

2020年 9月5日 Sat



時間 10:00~15:00

お申込みはこちら ▶ https://www.kokuchpro.com/event/jisedai_symp_tohoku/

先着
500名
まで

事前登録制
申込締切日
8月31日
月

スマートフォンに代表される個人向け携帯情報端末の普及に加え、情報処理速度の飛躍的な向上により、従来から膨大な情報を取り扱うヘルスケア領域への展開に多大な期待が寄せられている。加えて、日本製薬工業協会が「製薬協 政策提言 2019」において、「デジタル技術等を活用した予防・早期診断・先制医療など幅広い健康医療ソリューションの実現」に言及しているなど、製薬業界からも高い関心を集めている。

平成26年に規制が始まった単体プログラムであるが、規制の対象物が製品なのかサービスなのか判別しにくいなど、現場での混乱は散見されるものの、昨今のデジタルヘルスの隆盛により、様々な製品が登場し市場を賑わせている。また、個人向け携帯情報端末の普及により、患者と医療機関のかかわり方が変化し、医療の仕組みが変わりつつある点も見逃せない変化である。この状況は今後も続くと想定されるが、どのようなプログラム医療機器が生き残るのだろうか。プログラム医療機器として規制の対象になることで、どのようなことを考えておかなければならないのだろうか。

本シンポジウムでは、薬事戦略と保険戦略の両面からプログラム医療機器開発において考慮すべき要素について整理し、生き残るプログラム医療機器の条件について議論したい。

デジタルヘルス時代に生き残るプログラム医療機器

午前の部(10:00~12:00)

▶ 基調講演 「デジタルヘルス新時代」

● 演者 池野 文昭(スタンフォード大学)

● 座長 鈴木 由香(東北大学病院臨床研究推進センター 国際部門)

デジタルヘルス時代のプログラム医療機器の薬事戦略

● 座長 鈴木 友人(東北大学ナレッジキャスト株式会社)

▶ 講演1 「プログラム医療機器の承認審査の考え方について」

● 演者 加藤 健太郎(独立行政法人医薬品医療機器総合機構)

▶ 講演2 「プログラム医療機器開発 研究者の視点から」

● 演者 古賀 弘志(信州大学医学部皮膚科学教室)

▶ 講演3 「プログラム医療機器開発 開発企業の視点から」

● 演者 桐山 瑠子(株式会社MICIN)

▶ パネルディスカッション1

「プログラム医療機器の薬事戦略を考える」

● 座長 鈴木 由香(東北大学病院臨床研究推進センター 国際部門)

● パネリスト 加藤 健太郎(独立行政法人医薬品医療機器総合機構)

古賀 弘志(信州大学医学部皮膚科学教室)

桐山 瑠子(株式会社MICIN)

中崎 知道(ミッドケープ・アンド・カンパニー株式会社)

鈴木 友人(東北大学ナレッジキャスト株式会社)

お昼の部(12:10~13:00)

東北大学が提供する医療機器開発支援と人材育成の取り組み

オンデマンド

・臨床研究推進センター

・アカデミック・サイエンス・ユニット

・オープン・ベッド・ラボ

・臨床研究推進センター 東京分室

・東北大学ナレッジキャスト株式会社

・人材育成講座

▶ 質疑応答 20分

午後の部(13:00~15:00)

プログラム医療機器の保険戦略

● 座長 間々田 圭祐(東北大学病院臨床研究推進センター 開発推進部門)

▶ 講演1 「医療機器の保険制度の概要」

● 演者 小池 和央(厚生労働省 医政局 経済課)

▶ 講演2 「プログラム医療機器の保険戦略 ~ハートフロー・FFRCTのケース~」

● 演者 川畑 佳樹(メデックス株式会社)

▶ 講演3 「プログラム医療機器の保険戦略が難しい理由」

● 演者 田村 誠(一般社団法人 医療システムプランニング
米国医療機器・IVD工業会(AMDD)医療技術政策研究所)

▶ パネルディスカッション2

「プログラム医療機器の保険戦略を考える」

● 座長 池田 浩治(東北大学病院臨床研究推進センター 開発推進部門)

● パネリスト 小池 和央(厚生労働省 医政局 経済課)

川畑 佳樹(メデックス株式会社)

田村 誠(一般社団法人 医療システムプランニング
米国医療機器・IVD工業会(AMDD)医療技術政策研究所)

土井 功夫(株式会社グリーンフィールド)

間々田 圭祐(東北大学病院臨床研究推進センター 開発推進部門)

▶ 総合討論 「生き残るプログラム医療機器の 条件について考える」

● 座長 池田 浩治(東北大学病院臨床研究推進センター 開発推進部門)

中崎 知道(ミッドケープ・アンド・カンパニー株式会社)

● パネリスト 小池 和央(厚生労働省 医政局 経済課)

川畑 佳樹(メデックス株式会社)

田村 誠(一般社団法人 医療システムプランニング
米国医療機器・IVD工業会(AMDD)医療技術政策研究所)

桐山 瑠子(株式会社MICIN)

土井 功夫(株式会社グリーンフィールド)

鈴木 友人(東北大学ナレッジキャスト株式会社)

鈴木 由香(東北大学病院臨床研究推進センター 国際部門)

中川 敦寛(東北大学病院臨床研究推進センター バイオデザイン部門)

受
講
方
法

1 下記WEBサイトより
お申込みください。

2 申込受付後、完了メールの
受信を確認してください。
届かない場合はご連絡
ください。

3 当日、インターネットへの
接続と音声出力が可能
なPCなどをご用意の上、
受講してください。

8/31(月)
までに
お申込み
ください

申込WEBサイト

https://www.kokuchpro.com/event/jisedai_symp_tohoku/

申込WEBサイト▶



Zoomのアプリを
事前にインストールして
ご参加ください。

推奨
環境

パソコンでのご視聴
・通信環境: ADSL以上の高速インターネット ・プレイヤー:
FlashPlayer10.2以上(最新推奨) ・Windows OS:10/8/7/Vista/XP
(7以上推奨)、Macintosh OS:10.7以降(最新推奨) ・ブラウザ:
Internet Explorer 7以上(9以上推奨)、mac safari最新、Firefox最新

iPhone、iPadでのご視聴
・OS:iOS7.0以上を推奨 ・ブラウザ:safari

スマートフォン、タブレットでのご視聴
・Android:4.0x以上を推奨 ・ブラウザ:Chrome

お問い合わせ先

東北大学病院
臨床研究推進センター 開発推進部門

TEL:022-717-7136

(担当: 斎藤・熊谷・吉川)

E-mail jisedai-symp@crieto.hosp.tohoku.ac.jp